

## 令和4年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和4年12月23日(金) 9:00~10:10

開催場所：Zoom を利用した Web 会議

参加者：8名

井岡亜希子(まるレディースクリニック院長)、伊藤ゆり(大阪医科大学研究支援センター医療統計室室長・准教授)、埴岡健一(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授)、東尚弘(国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター長)、平田哲生(琉球大学病院診療情報管理センター長)、伊佐奈々(琉球大学病院がんセンター・診療情報管理士)、増田昌人(琉球大学病院がんセンター長)、有賀拓郎(琉球大学病院診療情報管理センター副センター長)

欠席者：1名

天野慎介(全国がん患者団体連合会理事長)

陪 席：1名

並里亜衣(琉球大学病院がんセンター)

## 《報告事項》

## 1. 令和4年度 第1回ベンチマーク部会 議事要旨について

増田委員より資料1に基づき、第1回ベンチマーク部会 議事要旨について説明があった。

## 2. その他

特になし。

## 《協議事項》

## 1. 医療者調査の内容について

増田委員より資料2に基づき、医療者調査案について前回はアンケートへ3つ(問29~31)の設問を新たに追加したとの説明があった。Webで調査を行う場合は、所属施設別のアンケートも必要になるとの説明があった。また問15「がん診療拠点病院、がん診療病院についてお尋ねします」へ修正するとの説明があった。

埴岡委員より評価の為のものになっているのか少し分かりにくく、分野として抜けがあるのではないかとコメントがあった。また持ち場を聞くことに意義があるのではないかと意見があった。

東委員より、内容について回答者に直に意見を聞いたかとの質問があった。「拠点の役割を果たしていると思いますか」という設問は連携の為に重要だが、分かりづらいの

ではないかとの意見があった。

有賀委員より、適切な回答数について質問があった。埴岡委員より、沖縄には回答率が高いという実績がある為、質問数を増やしても大丈夫ではないか、かつ Web 調査にすれば負担が軽減するのではないかとのコメントがあった。

東委員より、レイアウトに関して圧迫感があるのではないかとの意見があった。またリッカートスケールにするかどうか検討しなければならないとのコメントがあった。

伊藤委員より、問 21 の苦痛のスクリーニングに関する設問についてスクリーニング後の展開について質問を加えてはどうかと。社会的苦痛についても含めて聞いてはどうか。就労支援に関する質問についても具体的な問いにしてはどうか等の意見があった。質問事項に関して、施設に対して聞く質問と個人に聞く質問が混在している為、個人に対する質問に絞ってはどうかとのコメントがあった。また今回出た案で修正し、できたものを身近な臨床医に回答してもらって意見をもらってはどうかとの意見があった。

埴岡委員より、20 個は 8 分野に関する質問を 2-3 個ずつ、残り 10 個はアクションベースの質問(妊孕性に関すること等)を入れてはどうかとの意見があった。

東委員より質問事項について、質問をブロックごとに分けた方がいいのではないかとの意見があった。問題を追加するには、パイロットをして回答者がどう考えているかを把握すべきであるとの意見があった。

井岡委員より、施設に関しては現況報告書からとれるので、アンケートは個人に対する質問にしてはどうかとの意見があった。また選択肢の数についても、比較できるようそろえた方がいいのではないかとの意見があった。

## 2. Web アンケートについて

増田委員より資料 3 に基づき、Web アンケートを実施するとの説明があった。Web アンケートは Google フォームを利用して進めることとなった。

## 3. 調査対象者の人数について

増田委員より資料 4 に基づき、前回の配布人数と現在のがん診療を行う施設の医師数・看護師数・薬剤師数について説明があった。配布人数については次回の部会にて協議することとなった。

## 4. 第 4 次沖縄県がん対策推進計画について

増田委員より 2 月の協議会にて第 4 次がん計画案を作成するとの説明があった。来年の 4 月か 5 月までに県へ提出できるようすすめていくとの説明があった。

#### 5. 次回ベンチマーク部会開催日程について

増田委員より3月頃まで毎月1回Zoomを利用したWeb会議を開催するとの説明があった。

#### 6. その他

##### ①部会・副部長について

今年度の部会長は増田委員、副部長は埴岡委員に決定した。

## 医療者のみなさまへ (案)

～沖縄県におけるがん医療をより充実させるため、ご協力をお願いします～

あなたの考えや状況に近い回答を 1 つ選び、数字に「○」をお付けください。

問 1. あなたの職種をお答えください。

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. ソーシャルワーカー 5. その他 ( )

問 2. あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

問 3. あなたの年齢をお答えください

1. 20 歳～29 歳 2. 30 歳～39 歳 3. 40 歳～49 歳 4. 50 歳～59 歳  
5. 60 歳～64 歳 6. 65 歳以上

問 4. あなたの施設の医療圏域をお答えください。

1. 北部医療圏 2. 中部医療圏 3. 南部医療圏 4. 八重山医療圏 5. 宮古医療圏

問 5. 異職種間で自由に意見できる雰囲気ですか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 6. 医師は必要な情報を医療スタッフ (or あなた) と共有していると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 7. あなたは、必要に応じて自分の職種以外の役割を、補いつつ仕事をするようつとめていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 8. あなたの担当するがん患者で、治療方針 (告知等) の説明の際に、医師以外の職種も参加している割合は何%ぐらいですか。

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 9. がん医療を行っていくうえで、他の医療機関との連携に困難感があると思いますか？

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問 10. 専門医療機関に対してがん患者を紹介したときに受け入れてもらえますか？

1. 受け入れてくれる (断られることはめったにない) 2. たいてい受け入れてくれる (たまに断られる)  
3. どちらかという断られるほうが多い 4. ほとんど断られる

問 11. 他院へがん患者を紹介した際に、その後の経過について紹介先医療機関からの情報提供がありますか？

1. いつも十分ある 2. たいていは十分ある 3. たいてい不足している  
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問 12. 他院からがん患者が紹介されてきた際に、その後の診療を継続するのに患者にとって十分な情報が紹介元医療機関から提供されていますか？

1. いつも十分ある 2. たいていは十分ある 3. たいてい不足している  
4. いつも不足している 5. 気にしていない

問 13. より専門的な医療機関へがん患者を紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 14. がん患者を定期的なフォローアップのために紹介するときに、どの医療機関に紹介するかを決めるための情報が足りないと感じることはありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 15. がん診療連携拠点病院、がん診療病院、がん診療連携支援病院についてお尋ねします。

①都道府県がん診療連携拠点病院である琉球大学病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

②地域がん診療連携拠点病院である那覇市立病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

③地域がん診療連携拠点病院である沖縄県立中部病院は、がん診療連携拠点病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

④地域がん診療病院である沖縄県立宮古病院は、がん診療病院の指定要件に示された役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑤北部地区医師会病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑥沖縄県立八重山病院は、がん診療連携支援病院の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

⑦都道府県がん診療連携拠点病院である琉球大学医学部附属病院は、県内のがん診療の連携体制の整備構築の役割を十分に担っていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 16. 沖縄県でがん医療を提供するとき、専門医の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 17. 沖縄県でがん医療を提供するとき、医師以外の専門的な医療従事者(がん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、など)の不足を感じることはどの程度ありますか？

1. かなりある 2. ややある 3. あまりない 4. まったくない

問 18. あなたは、がん患者の話を耳を傾け、患者が置かれている状況を踏まえ対応していると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 19. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 20. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

1. 十分実践されている 2. ある程度実践されている 3. あまり実践されていない  
4. まったく実践されていない

問 21. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 22. 離島に居住しているがん患者が、適切な医療を受けていると思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 23. 現在離島でがん医療に従事している方、または過去に離島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のうち、より専門的な医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 24. 現在本島でがん医療に従事している方、または過去に本島でがん医療に従事した方にお聞きします。離島に居住しているがん患者のフォローアップのために、地元の医療機関へ紹介したい場合、大きな支障なく紹介できた症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 25. あなたの担当するがん患者で、在宅医療を希望された患者のうち、在宅医療に移行した症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

問 26. 医師ががん患者とその家族に、治療の説明など必要な説明と情報を提供していますか？

1. いつもしている 2. たいていしている 3. していないほうが多い 4. ほとんどしていない

問 27. 医師以外の医療スタッフの方にお聞きします。

がん患者のケアに関して、自分の意見を医師に対して自由に言えますか？

1. 言える 2. ときどき言える 3. あまり言えない 4. 言えない

問 28. 医師の方にお聞きします。

他の医療スタッフの話を耳を傾けていますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 29. あなたの施設では、がん患者に対する就労支援が実践されていますか？

1. 十分実践されている 2. ある程度実践されている 3. あまり実践されていない  
4. まったく実践されていない

問 30. あなたの施設では、がん医療の質の向上などに対するモニタリングとその結果のフィードバックが実践されていますか？

1. 十分実践されている 2. ある程度実践されている 3. あまり実践されていない  
4. まったく実践されていない

問 31. あなたの担当するがん患者で、新規治療開始患者のうち、がん相談センター(または、がんについての相談窓口)やピアサポートの情報を提供した症例は何%ぐらいですか？

1. 100% 2. 75%以上 100%未満 3. 50%以上 75%未満 4. 25%以上 50%未満 5. 25%未満

以上で質問は終わりです。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

令和〇年〇月〇日(〇)までに、貴院のアンケート調査ご担当者様へお渡しください。